

新型コロナウイルス感染症予防チェックリスト⑤

審判関係大会開催用

シーン	項目	チェック欄	備考
1 事前準備	(1) 審判チーム内において感染対策責任者を定め、競技会主管者の感染対策責任者を把握する。		
	(2) 競技会・試合に参加する上での注意事項を審判員・審判指導者全員が理解する。 (不安がある場合は参加を見送る)		
	(3) 日常から健康観察シート(自己管理用)に記載し、毎日健康チェックを行う。		
	(4) 未成年審判員の保護者が、競技会の会場、日時、対戦相手を理解しており、審判員の参加を了承している。 (了承しない場合は無理に参加させない。)		
2 往復の移動	(1) マスクを着用する。		
	(2) 往復の交通公共機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。 (公共交通機関を利用せず移動ができる場合は、それを優先する)		
	(3) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。		
	(4) 切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。		
	(5) 電車・バス等において、常に他者と距離をとり、会話も控える。		
	(6) 目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。		
	(7) 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。		
3 試合前	(1) 審判員はウオームアップ実施以外の時はマスクを着用する。審判IRは常にマスクを着用する。		
	(2) 健康チェックシート(提出用)を主管者の感染対策責任者に提出する。なお、参加チームの一員または大会運営スタッフと兼務している場合は、【様式②または③_1】健康チェックシートのみの提出でよい。		
	(3) 着替えを素早く済ませる。		
	(4) 更衣室が狭い場合は、更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする(女性更衣は配慮)		
	(5) 審判打合せ(プレゲームカンファレンス)は会場内の3密を避けた場所にて手早く済ませる。なお、実施する場合はマスクを必ず着用し、フェイスガード等の着用はより望ましい。また、対面とならないように工夫をする。事前に時間が設定できる場合はオンラインにて実施するすることが望ましい。		
	(6) 更衣が終了したら、すぐに更衣室を出る。		
	(7) 審判IRは審判員に試合前、試合中、試合後ともに接触も会話もしない。会話が必要な場合、お互いにマスクを着用して距離を保ち、最小限の会話に限定する。		
4 試合中	試合関係者のコミュニケーション、給水等		
	(1) 選手等との不要な接触を避ける。		
	(2) コート上で選手・コーチ等と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。		
	(3) 試合の間に行う飲水は自分専用のボトルを使用する。		
	ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時の対応		
	(1) 更衣室に戻る前に消毒や手洗い、うがいをする。		
	(2) 退席や退場の判定の際等、選手や監督と会話をする必要が生じた場合は、距離に十分配慮し、必要最低限の会話に限定する。		
(3) 怪我をした選手にむやみに接触しない。また、コート外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。			
(4) 試合後の選手との挨拶は行わない。握手もしない。			
(5) 試合後の審判員と審判IR、及び審判員同士の振り返りミーティングはどちらも行わない。後日に別の方法(電話、メール、オンラインミーティング等)で行う。			
5 試合後	(1) 更衣室は窓を開けっぱなしにし、更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。 (女性の更衣は配慮)		
	(2) 着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。		
	(3) シャワーの利用については、ローテーションを組んで交代で浴びる等の工夫をする。		
	(4) 自らが出したゴミはすべて持ち返る。		
6 帰宅後の過ごし方	(1) 手洗い・うがいを徹底する。		
	(2) バランスの良い食事をとる。		
	(3) 検温と共に行動記録を書く。		
	(4) 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。		
7 事後対応	(1) 帰宅後14日以内に感染が発覚した場合は、主管者の感染対策責任者に速やかにその旨伝える。		